

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	道路	コード 01-01-11	作成者 氏名 電話	都市整備課長 樽家真佐人 64-1833
--------------	----	-----------------	-----------------	----------------------------

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標) 中項目(基本施策)	安全で快適に暮らせるまちづくり 生活しやすいまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民はもとより、観光等で備前市を訪れる道路利用者全ての人達が安全安心して円滑に通行できるよう整備、維持管理をしていく。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の道路網は、山陽自動車道をはじめ市内を東西に横断している国道2号を軸とし、その他の国道や県道により骨格が形成されているが、現在の車社会では、多くの道路で渋滞、事故等が発生し、何らかの形で弊害がもたらされている。特に、国道2号は、朝夕の通勤時間帯の渋滞が著しくこれに流入する各道路にも影響を及ぼし、日常生活に支障をきたしていることから国道2号の整備が急務であり、その他幹線道路の改良も必要であります。また、市道においては、生活道路として日常的に市民が最も多く利用していることから、道路拡幅等地域の実情に合った整備に努めていく必要がある。また、架橋事業の早期事業完了が望まれている。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道2号については、渋滞緩和と活性化を図るため整備促進を国に強く要望する。</li> <li>・ 国道250号については、交通安全施設及び道路拡幅改良やバイパスの検討について関係機関に要望する。</li> <li>・ 日生地域の渋滞緩和など安全安心のまちづくりの観点から県道寒河本庄岡山線の早期完成を県に要望する。</li> <li>・ 生活道路は、国の補助制度を有効に活用するとともに地域住民の協力を得ながら整備促進に努める。</li> <li>・ 交通弱者の安全を確保するため腫瘍道への歩道整備を促進する。</li> <li>・ 市道の維持管理に努めるため、ボランティア推進事業を推進し、協働による市民参加で環境美化に努める。</li> <li>・ 日生頭島線第2区間の早期完成を目指す。</li> </ul>	

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他	
			H17		H18		H19			
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費		
1 国道等整備促進事業	C	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会負担金	内部管理	200		200				
		国道2号(岡山県東部)整備促進期成会事務	内部管理	0		0				
		国道2号(岡山県東部)整備促進要望事務	内部管理	0		0				
		国道374号整備促進期成会会費	内部管理	60		60				
		国道374号整備促進要望事務	内部管理	0		0				
		国道250号整備要望事務	内部管理	0		0				
		道路整備促進同盟会・全国協議会要望事務	維持管理	49		0				
		(社)日本道路協会負担金	内部管理	30		30				
		中国国道協会会費	内部管理	40		80				
中国横断自動車道建設促進岡山県期成会会費	内部管理	2		2						
2 県道改良事業	C	道路改良県工事負担金	内部管理	29,336	1,850	9,109	1,697			
		県道改良要望事務	内部管理	139		0				
3 県道整備促進事業	C	県市町村道整備促進期成同盟会負担金	内部管理	15		15				
		中部高原地域整備促進期成会負担金	内部管理	50		50				
		研修会等参加負担金	内部管理	10	0	15	2,289			
		県土木協会会費	内部管理	50		50				
4 県道維持管理事業	C	中国地区用地対策連絡会会費	内部管理	30		30				
		岡山アダプト推進事業事務	維持管理	0	1,010	0	3,450			
		岡山ロードサポート事業事務	維持管理	0		0				

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17 561,214	H18 800,378	H19
------------------------	----------------	----------------	-----

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、路線単位ではなく面的な整備も可能になる。
地元区会	道路・河川管理のためのボランティアの推進	公共物に対する愛着心を養い、維持管理費の軽減を図る

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	指標達成度は、まずまず達成されている。	3	概ね、施策成果指標の目標数値を保っている。
2 事業構成の適当性	2	各種負担金が多い。	3	安全面の施策を考えたかどうか。
3 施策の有効性	3	道路整備、維持管理は市民が多く望んでいる。	3	市民意識調査からも、市民からの要望は高い。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	市管理道路の整備については、その緊急性や費用対効果を十分に考慮し実施するよう心がけるよう努めること。また、維持管理面では広報活動等を通じボランティア団体が増加するような工夫を心がけてください。		限られた予算での執行だけに、緊急性費用対効果を考慮して実施すること。	
二次評価者コメント	ボランティア参加団体数や活動回数を増やすことによって、維持管理費のコスト削減を図り、予算配分内で市民要望に答えてほしい。			平成20年度 予算の方向性 前年度並みの配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

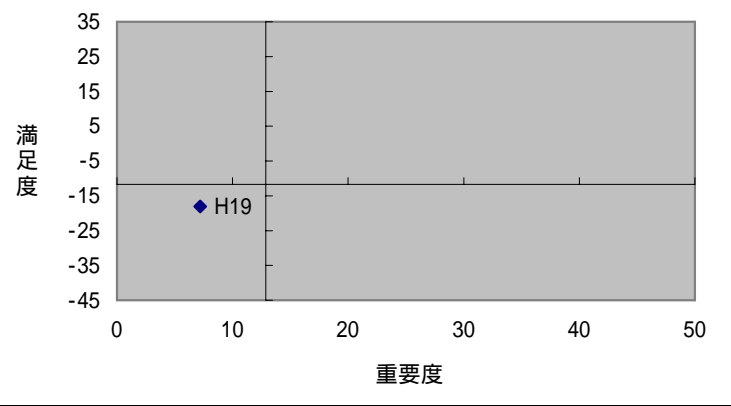
調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	7.2		
満足度(%)	-18.1		

<見直し領域>  
その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域>  
現状の方向を継続

<検討領域>  
その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域>  
内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う



調査結果に対するコメント、市民の反応等  
 調査対象でない施策の場合は、市民の反応等  
 道路に対する重要度はもっと高くても良いと思う。道路に関する市民からの要望は非常に多い。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 道路改良率(3.5m以上)	目標	%	60.0	65.0	70.0	75.0	改良済み延長/市道総延長
	実績	%	60.0	67.0			
	達成率	%	100.0	103.1			
2 ボランティア参加団体年間活動回数	目標	回	87.0	120.0	160.0	200.0	参加団体の活動回数を増やす
	実績	回	119.0	120.0			
	達成率	%	136.8	100.0			
3 道路舗装率	目標	%	81.0	81.0	85.0	90.0	舗装済み延長/市道総延長
	実績	%	80.3	80.4			
	達成率	%	99.1	99.3			
4	目標						県下市町村道舗装率
	実績						
	達成率	%					

